

第34回「日本語で語る会」(オンライン) 村田大使挨拶

こんにちは。駐フィンランド日本大使の村田隆です。本日は、オンラインではありますが、今回で34回を迎える長い歴史がある「日本語で語る会」に参加させていただく機会を得て、大変光栄に感じています。

新型コロナの影響により、昨年に予定されていたこの「日本語で語る会」は残念ながら延期になりました。今もまだ新型コロナで不自由な生活が続いています。

本日、日本語を熱心に学ぶ皆様を応援するために、初めてこのようなオンラインの形で「日本語を語る会」が開催されたことを心よりお喜び申し上げます。

多くの困難を乗り越えて御尽力を頂いた鈴木会長をはじめ日本語日本文化教師会(JOY)、並びにユッシ・ユッシラ先生をはじめユヴァスキュラ大学の関係者の皆様に心から感謝いたします。

外国語を学ぶことは、単なるコミュニケーションの手段だけにとどまりません。その言語が話されている国や地域の人々の文化、社会、歴史を深く知ることにもつながります。

約100年前に初めて日本へ派遣された初代駐日代理公使のグスタフ・ヨン・ラムステッドさんはヘルシンキ大学の言語学者でした。ラムステッドさんは、日本で外交官としてだけでなく、言語学者としても活躍し、日本とフィンランドとの懸け橋の役割を果たしました。

あれから100年たった21世紀には技術の進歩により、インターネット、SNSなどで世界は密接に繋がっています。ヨーロッパはEUとして一つとなり、アジアも自由市場経済圏として一つになろうとしています。そしてそのヨーロッパとアジアは一つに結びつこうと躍動的に動いています。

フィンランドは日本に最も近いヨーロッパの玄関です。同じ基本価値を共有する日本とフィンランドは、アジアとヨーロッパを結ぶ戦略的な

パートナーシップを強化しようとしています。

いま日本語を学ぶ皆様には、いずれ日本の人々の生活、文化、社会、歴史の理解を深めつつ、外交、経済、文化、社会、学術、科学の様々な分野で日本人と共にアジアとヨーロッパを結ぶ懸け橋として活躍されることを期待しています。

日本大使館は国費留学生など日本語を学ぶ皆様に様々な支援を行っています。また、日本とフィンランドとの間でワーキングホリデイの開始に向けてフィンランド政府と最終的な交渉を行っていますので、最後にご紹介しておきます。

本日はフィンランド各地からの日本語学習者代表の15人が日本語でスピーチすると聞いています。皆様の日頃の日本語学習成果としてのお話をお聞きすることをとても楽しみにしています。“オンネアプヘイシーン！”、頑張ってください。